



Make the world **NAMERAKA**

株主の皆様へ

第 **124** 期

中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

NTN 株式会社

証券コード 6472



世界をなめらかにする仕事。

機械のあらゆる回転部位をなめらかにするベアリング技術。
より精密なベアリング技術があれば、軸はよりなめらかに回転し、
エネルギーロスは限りなく少なくなります。
つまりベアリングは、省エネルギーのための技術です。
ベアリングで磨いてきたその技術は、
これからの電気自動車やロボット、自然エネルギー社会までも、
なめらかに変えていきます。

企業理念

新しい技術の創造と新商品の開発を通じて 国際社会に貢献する

- 1 独創的技術の創造
- 2 客先及び最終消費者に適合した付加価値技術及びサービスの提供
- 3 着実な業績の伸長の下での社員の生活向上、
株主への利益還元、社会への貢献
- 4 グローバリゼーションの推進と国際企業にふさわしい
経営・企業形態の形成

ごあいさつ

株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げるとともに、医療従事者の皆様や生活インフラを支えるために尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

ここに、当社の第124期中間報告書をお届けいたします。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

取締役 代表執行役 執行役社長
CEO (最高経営責任者)

鷓飼 英一



目次

ごあいさつ	02	セグメント別の概況	07	トピック	13
決算ハイライト	03	事業形態別の概況	09	会社情報・株式情報	14
トップメッセージ	04	連結財務諸表	11		

見直しに関する注意事項

本報告書には、NTNの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は本報告書で述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

決算ハイライト

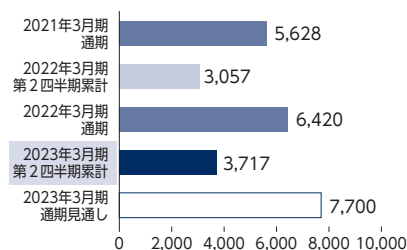
当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）における世界経済は、段階的に経済活動の正常化が進んだことで、景気は持ち直しの動きがみられました。日本経済については、原材料価格の上昇に伴い消費者物価は上昇しているものの、個人消費は緩やかに持ち直しました。海外においても、米国経済、欧州経済、アジア他のその他新興国経済、中国経済で持ち直しの動きがみられました。一方、世界的な半導体不足やサプライチェーンの混乱、ウクライナ情勢やエネルギー情勢等の影響、また世界的な金融引き締め等がある中、世界経済は不透明な状況が続きました。

かかる状況下、昨年4月から開始した中期経営計画「DRIVE NTN100」Phase 2で掲げた諸施策を着

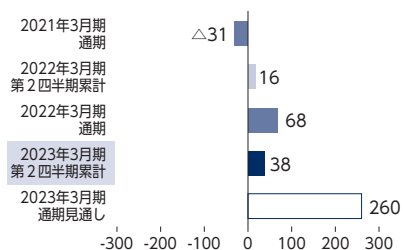
実に実行し、事業構造の変革（Transformation）を加速するとともに、財務体質・組織体制を強化し、経営環境の変化にしなやかに対応できる企業体質の構築を目指します。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、371,702百万円（前年同期比21.6%増）となりました。損益につきましては、現時点では欧米の自動車市場向けを中心に売価転嫁より鋼材価格上昇や固定費の増加等が先行しておりますが、規模や為替の影響等により営業利益は3,860百万円（前年同期比140.0%増）、経常利益は3,593百万円（前年同期比111.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,633百万円（前年同期は1,048百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

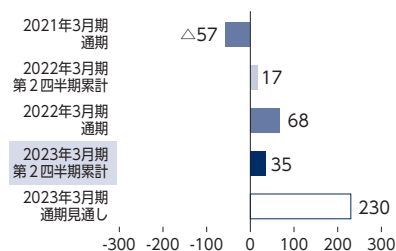
●売上高(億円)



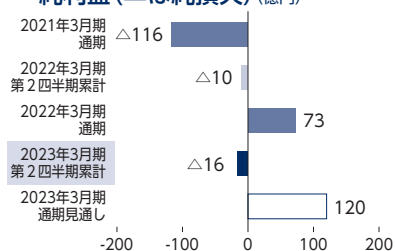
●営業利益(△は損失)(億円)



●経常利益(△は損失)(億円)



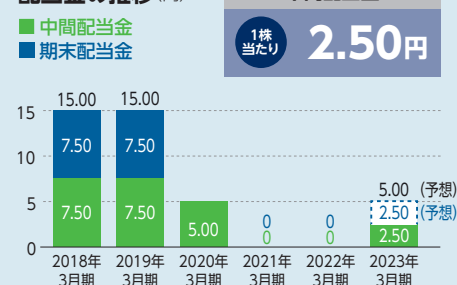
●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△は純損失)(億円)



🔊) 当期の配当について

当中間配当金につきましては、業績、配当性向、経営環境等を勘案しました結果、1株につき2.5円とさせていただきます。

配当金の推移(円)



決算説明会について

2022年11月4日に開催した2023年3月期第2四半期決算説明会の内容を動画でもご覧いただけます。



トップメッセージ

当社グループは、「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」という企業理念の実践を通じて、世界を取り巻く社会的課題の解決に貢献し、人と自然が調和し、人々が安心して豊かに暮らせる「なめらかな社会」の実現を目指しています。

この「なめらかな社会」の実現に向けた具体的な取組みとして、2020年12月にSDGs対応のために当社グループが優先的に取組むべき13項目のマテリアリティを特定し、昨年5月に「TCFD提言」に賛同を表明しました。

また当社グループは、サステナビリティ経営の推進組織として、「サステナビリティ委員会」を設置し、その取組みについて適宜、取締役会に報告する体制を構築しております。TCFDの提言に沿ったシナリオ分析の結果を、関連するマテリアリティ（機会:エネルギーロスの低減、リスク:気候変動への対応等）の指標・目標に結び付け、事業活動に展開するとともに「カーボンニュートラル（環境負荷低減・脱炭素）」と「安全安心、快適性の追求」に繋がる分野に研究開発資源を集中し、将来の成長に向けた研究開発活動を加速させています。

中期経営計画 「DRIVE NTN100」Phase 2の概要

昨年4月から開始した3年間の中期経営計画「DRIVE NTN100」Phase 2では、事業構造の変革（Transformation）を加速するという方針のもと、3年間で財務体質の強化期間と位置づけ、現下の半導



体の供給不足や物流費の高騰、急激に進むインフレ、紛争リスクの上昇等、急激かつ大幅な経営環境の変化にしなやかに対応できる企業体質の構築を目指しています。

1. 基本戦略

(1) 事業構造の変革

デジタル技術と当社が培った経営資源を融合させ、事業構造の変革を加速させます。基幹システムの刷新による「経営管理の更なる高度化」、スマートファクトリ化の推進、また顧客製品の状態監視や故障の事前予知等、DX戦略に基づく新たなビジネスの創出、拡大に取り組めます。

トップメッセージ

(2) 財務体質の強化

目標とする売上高の8割程度でも利益を出せる財務体質を目指し、比例費低減、固定費抑制等による損益分岐点売上高の引き下げに取組んでいます。また、投資効率を追求し、効率化・省人化投資を進めるほか、遊休資産や有価証券の売却、事業統廃合等の選択と集中によりキャッシュ・フローの最大化に取り組めます。

取組み状況

世界的な原材料価格の高騰が進行し、依然として売上高が不安定な状況下、下期においても更なる諸物価の上昇が見込まれるため、収益確保に向けた販売価格の見直し、比例費削減、固定費抑制を推進しています。

一方で、従来から継続中の利益率向上に向けた自動車OEMを中心とした不採算商品の値上げあるいは撤退、自動車向け余剰生産能力を活用した補修品の供給拡大、キャッシュ・フロー最大化に向けた棚卸資産の削減等に継続的に取組み、自動車事業の利益率向上と補修事業の拡大を図りながら、2024年3月期における中期経営計画の達成を目指します。

2. 事業別戦略

(1) 補修事業

OEM・補修共通の販売戦略の下、ターゲット業種を攻略します。常備在庫の拡充、技術サポート・サービス対応の強化、自動車補修部門・機能の再編

等の施策を進め、販売拡大に繋がります。また、センサ技術とIoTを活用して軸受の温度・振動・回転速度の情報を無線送信する「しゃべる軸受」の早期開発による状態監視ビジネスの確立と補修需要の囲い込み、遠隔支援カメラ等を活用した技術サービスの拡大を通じ、ハードの売り切りからソフト・サービスを加えたビジネスへの変革を目指します。

取組み状況

補修市場向け製品供給を強化すべく、常備在庫システムの適用拡大等に取り組む一方で、鋼材価格や物流費の高騰に対して、お客様に丁寧な説明しながら定価表の改定や価格値上げを推進中です。

本年6月には、「しゃべる軸受」の開発を発表し、テストマーケティングを通じたニーズ探索を進めています。また、目的や状況に応じて対面とリモートを使い分けた技術講習会の開催等、技術サポートを強化するとともに、「NTNポータブル異常検知装置」については国内のお客様への展開に加えて米国をはじめ海外への展開を開始しています。

(2) 産業機械事業

既存商品の収益基盤の強化と新領域の早期確立を図ります。成長業種（風力発電、変減速機、工作機械、鉄道車両等）に経営資源を投入し販売を拡大します。また、収益基盤を強化すべき業種（建設機械、農業機械、航空・宇宙等）は、抜本的な

原価低減や生産性の向上、低収益・不採算型番の売価改善や販売縮小・撤退等の収益改善施策を進めます。一方、風力発電向け軸受メンテナンスサービスや、手首関節モジュール商品を活用した省人化提案を進めます。

取組み状況

世界的にカーボンニュートラルが進む中、生産設備を増強し、風力発電機向け軸受の受注拡大を推進しています。本年5月には風力発電に特化したメンテナンス事業を行う株式会社北拓と提携、軸受の供給から異常検知、メンテナンスまでワンストップで提供できる体制を構築しました。

また、手首関節モジュール「i-WRIST」をはじめ、状態監視システム（CMS）・軸受診断アプリケーション等、ロボティクス、サービス・ソリューション事業を強化しています。

一方で、鋼材価格、エネルギー費高騰分の売価転嫁、及び不採算ビジネスに対する値上げ・撤退を進め、足元の業績向上に取り組んでいます。

(3) 自動車事業

SUVや電気自動車（EV）等の高成長・高収益セグメントへの受注シフトを進めるとともに、比例費低減、ものづくり改革の推進、売価管理の徹底等に取組み、利益率向上を図ります。同時に電動モジュール商品や環境対応商品の販売を拡大し、

カーボンニュートラルに貢献します。グローバルで加速する「EV化・電動化」に対し、ハブベアリングやドライブシャフトでは高効率・低振動・低フリクション等の技術的な優位性を活かした販売機会の獲得を進め、電動オイルポンプやeHUB/sHUB、電動ブレーキ等の新領域分野での早期の事業化を目指します。

取組み状況

欧州市場で当社CFJ（次世代高効率固定式等速ジョイント）、第3世代円すいころハブベアリングの量産初採用が決定する等、当社グループがターゲットとしているセグメント（BEV、SUV、ピックアップトラック）における成果がグローバルで始めています。

また、国内自動車顧客から、同社が内製するドライブシャフトを全量移管受注する等、駆動領域において、「圧倒的なスピード×ソリューションでお客様を笑顔にする提案力No.1企業」を目指しています。

一方で、昨年来の鋼材価格、物流費、エネルギー費高騰分の売価転嫁、低収益ビジネスの撤退、不採算事業の再編や再建計画を実行し、自動車事業の利益率改善を図っています。

当社グループは、「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」という企業理念のもと、中期経営計画「DRIVE NTN100」Phase 2の確実な達成を通じ、企業価値の向上に邁進してまいります。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の概況

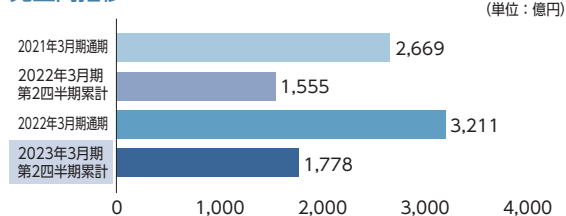
日本

2023年3月期
第2四半期累計

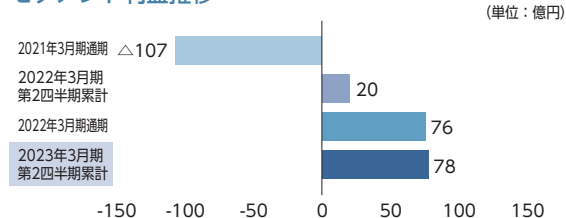
売上高
1,778 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで増加しました。産業機械市場向けは建設機械向けや工作機械向けなどで増加し、自動車市場向けは客先需要の回復などにより増加しました。全体としては、売上高は177,856百万円(前年同期比14.4%増)となりました。セグメント損益は鋼材価格の上昇や固定費の増加などはありませんでしたが、売価転嫁や規模、為替の影響などにより7,839百万円のセグメント利益(前年同期比287.1%増)となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



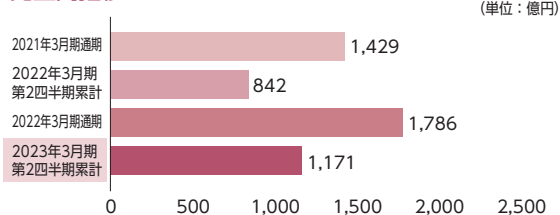
米州

2023年3月期
第2四半期累計

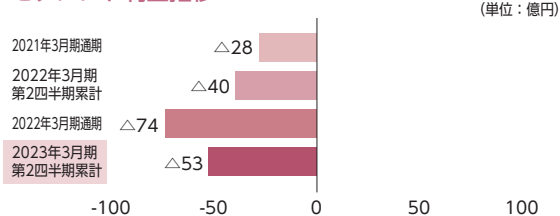
売上高
1,171 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで増加し、自動車補修向けで減少しました。産業機械市場向けは建設機械向けなどで増加し、自動車市場向けは客先需要の回復などにより増加しました。全体としては、売上高は117,110百万円(前年同期比39.0%増)となりました。セグメント損益は規模の影響などはありませんでしたが、現時点では売価転嫁より鋼材価格上昇や固定費の増加などが先行しており、5,372百万円のセグメント損失(前年同期は4,034百万円のセグメント損失)となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



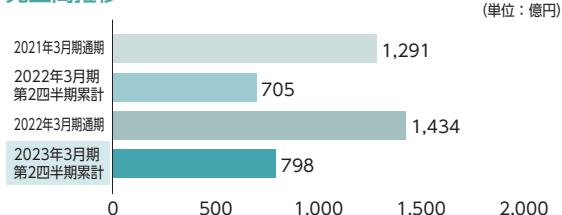
欧州

2023年3月期
第2四半期累計

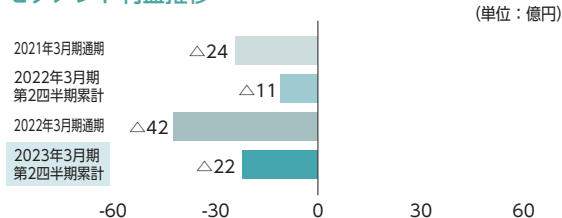
売上高
798 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで増加し、自動車補修向けで減少しました。産業機械市場向けは航空機向けや農業機械向けなどで増加し、自動車市場向けは客先需要の回復などにより増加しました。全体としては、ウクライナ情勢の影響などはありませんでしたが、売上高は79,860百万円（前年同期比13.3%増）となりました。セグメント損益は規模の影響などはありませんでしたが、現時点では売価転嫁より鋼材価格上昇や固定費の増加などが先行しており、2,291百万円のセグメント損失（前年同期は1,191百万円のセグメント損失）となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



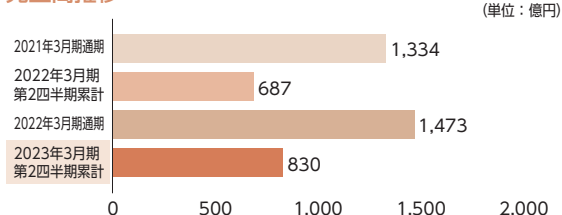
アジア他

2023年3月期
第2四半期累計

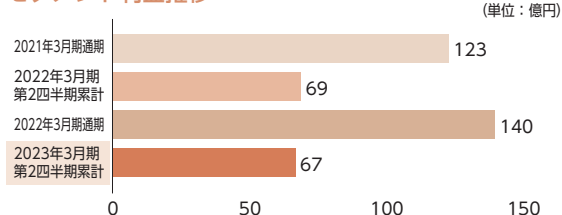
売上高
830 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで増加しました。産業機械市場向けは建設機械向けなどで減少し、自動車市場向けは客先需要の回復などにより増加しました。全体としては、83,009百万円（前年同期比20.8%増）となり、セグメント損益は中国の都市封鎖に伴う操業停止や稼働率低下などの影響などにより、6,787百万円のセグメント利益（前年同期比2.9%減）となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



*上記のセグメント情報には、セグメント間の取引が含まれております。

事業形態別の概況

補修市場向け

2023年3月期
第2四半期累計

売上高 **658** 億円

客先需要の拡大などで 増収増益

客先需要の拡大などにより、売上高は65,892百万円（前年同期比21.8%増）となりました。営業損益は鋼材価格の上昇や固定費の増加などはありませんでしたが、売価転嫁や規模、為替の影響などにより9,964百万円の営業利益（前年同期比45.1%増）となりました。

産業機械、自動車のメンテナンスニーズに対応するさまざまな商品を提供しています。さらに、軸受の診断・分析や技術講習会等のサービスを通じてお客様の設備の生産性向上と安定稼働をサポートしています。

オートパーツ



複数のベアリングを
組み合わせた
パーツキット

食品機械 向け



食品機械用
ポリループ
封入軸受

NTNポータブル異常検知装置



リモート技術支援サービス



産業機械市場向け

2023年3月期
第2四半期累計

売上高 **690** 億円

建設機械、農業機械向けの 増加などで増収増益

建設機械向けや農業機械向けの増加などにより、売上高は69,082百万円（前年同期比13.1%増）となりました。営業損益は鋼材価格の上昇や固定費の増加などはありませんでしたが、売価転嫁や規模、為替の影響などにより2,691百万円の営業利益（前年同期比94.3%増）となりました。

各種産業機械に向けて様々な軸受を提供し、産業機械の環境負荷低減を実現しています。また、センシングによる軸受の異常検知や製造現場の自動化・省人化等のニーズに寄与する商品・サービスも提供しています。

建設機械 向け



資源採掘や
土木建設で活躍

風力発電装置 向け



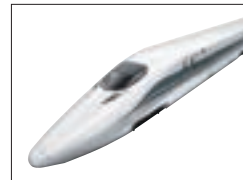
主軸、増速機、
発電機などの
回転を支える

ロボット 向け



i-WRIST®
外観検査の
高速・高性能化と
省スペース化を実現

鉄道車両 向け



世界の高速鉄道の
安全を支える

自動車市場向け

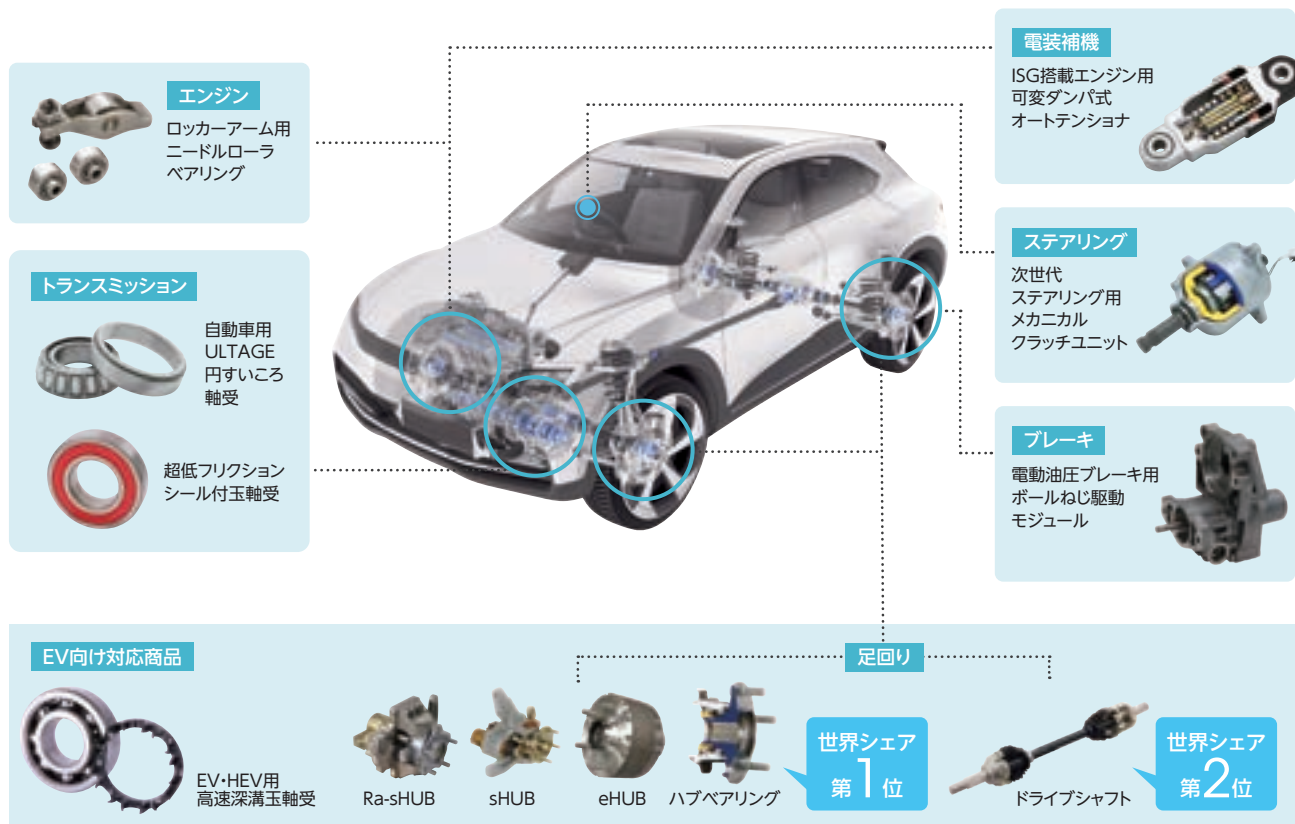
2023年3月期
第2四半期累計

売上高 **2,367** 億円

売価転嫁より鋼材価格上昇や固定費の増加などが先行し、営業損失

客先需要の回復などにより、売上高は236,726百万円（前年同期比24.2%増）となりました。営業損益は規模や為替の影響などはありましたが、現時点では売価転嫁より鋼材価格上昇や固定費の増加などが先行しており、8,795百万円の営業損失（前年同期は6,646百万円の営業損失）となりました。

急速に広がるCASE対応へのトレンドに対して基盤商品の高機能化を進めるとともに、e-Axleに求められる高速回転性能などを備えた新商品のラインアップを充実させ、駆動領域のスペシャリストとしてお客様のニーズにお応えしています。



*構造を見やすくするため、一部商品はカットした写真を掲載しています。
*事業形態別の代表的な商品例を掲載しています。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2022年9月30日)	前期 (2022年3月31日)	科目	当第2四半期 (2022年9月30日)	前期 (2022年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	533,439	512,031	流動負債	374,277	321,205
現金及び預金	120,919	128,644	支払手形及び買掛金	68,204	61,033
受取手形及び売掛金	122,853	125,507	電子記録債務	64,403	60,881
電子記録債権	6,099	6,491	短期借入金	166,938	134,229
商品及び製品	117,992	105,514	未払法人税等	4,683	4,544
仕掛品	65,451	55,939	役員賞与引当金	58	29
原材料及び貯蔵品	64,133	53,389	その他	69,989	60,486
短期貸付金	41	57	固定負債	274,393	317,853
その他	36,959	37,533	社債	80,000	80,000
貸倒引当金	△1,012	△1,045	長期借入金	136,032	179,802
固定資産	352,632	343,451	製品補償引当金	478	408
有形固定資産	275,968	265,797	退職給付に係る負債	37,242	36,852
建物及び構築物(純額)	92,604	87,955	その他	20,640	20,790
機械装置及び運搬具(純額)	125,994	122,607	負債合計	648,670	639,058
その他(純額)	57,369	55,234	(純資産の部)		
無形固定資産	42,448	44,029	株主資本	179,954	181,578
投資その他の資産	34,215	33,624	資本金	54,346	54,346
投資有価証券	25,885	24,679	資本剰余金	67,970	67,970
繰延税金資産	1,831	3,495	利益剰余金	58,493	60,127
退職給付に係る資産	2,442	1,555	自己株式	△856	△866
その他	4,266	4,094	その他の包括利益累計額	37,331	16,272
貸倒引当金	△210	△200	その他有価証券評価差額金	933	1,044
資産合計	886,071	855,483	為替換算調整勘定	37,258	16,025
			退職給付に係る調整累計額	△859	△797
			非支配株主持分	20,114	18,574
			純資産合計	237,400	216,425
			負債純資産合計	886,071	855,483

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期(第2四半期累計)	前期(第2四半期累計)
	[2022年4月1日から 2022年9月30日まで]	[2021年4月1日から 2021年9月30日まで]
売上高	371,702	305,796
売上原価	313,090	254,825
売上総利益	58,611	50,970
販売費及び一般管理費	54,751	49,362
営業利益	3,860	1,608
営業外収益	4,003	3,805
受取利息	417	435
受取配当金	201	390
持分法による投資利益	712	497
デリバティブ評価益	—	956
為替差益	1,333	—
その他	1,338	1,525
営業外費用	4,270	3,711
支払利息	2,514	2,187
為替差損	—	465
その他	1,756	1,058
経常利益	3,593	1,702
特別損失	—	98
独占禁止法関連損失	—	98
税金等調整前四半期純利益	3,593	1,603
法人税等	4,397	1,881
四半期純損失(△)	△804	△277
非支配株主に帰属する四半期純利益	829	770
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,633	△1,048

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期(第2四半期累計)	前期(第2四半期累計)
	[2022年4月1日から 2022年9月30日まで]	[2021年4月1日から 2021年9月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,018	10,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,470	△9,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,998	△22,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,136	△91
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△7,313	△21,769
現金及び現金同等物の期首残高	121,460	147,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	114,147	125,479

NTNニュース配信登録のご案内

配信登録いただきますと、ニュースリリースなど、当社の情報を電子メールでお届けします。ご登録はこちらをご参照ください。

<https://www.ntn.co.jp/japan/newsmail.html>



※本配信サービスは、三菱UFJ信託銀行(株)証券代行部が運営しています。



「NTNレポート2022」を 発行しました。

すべてのステークホルダーのご理解とご支援を賜ることが重要であると考え、経営計画や業績に加えて、サステナビリティ経営への取り組みなどを日英二カ国語で積極的に開示しています。

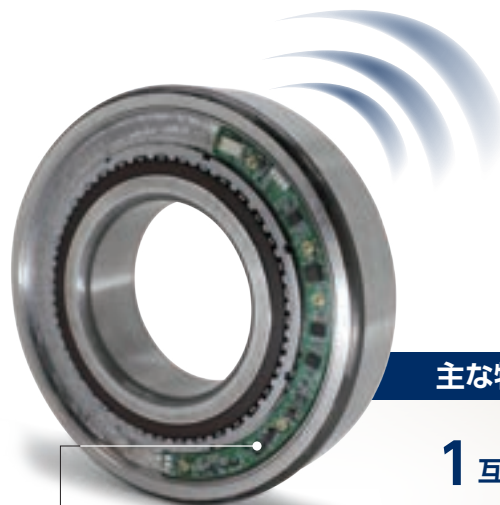
センサ内蔵軸受 「しゃべる軸受®」を開発

テストマーケティングを通じたニーズ探索、市場提案を進める

NTNは、センサ、発電ユニット及び無線デバイスを軸受に内蔵し、高感度に軸受の温度・振動や回転速度を検出し、データを無線送信する「しゃべる軸受®」を開発しました。

製造現場等では、生産効率の向上に向けて計画的にメンテナンス等を行うことで、設備の稼働停止時間をできるだけ抑えたいとの強いニーズがあります。さらに、近年ではDXやIoT技術の進展に伴って、遠隔監視や自動モニタリング、入手した状態監視情報の活用による製造品質の安定化や向上へのニーズも高まっています。

本開発品は、それらのニーズに高い次元で対応する特長を備えており、今後、本開発品のテストマーケティングを開始し、具体的なニーズの探索と市場への提案を進めます。



電子回路基板
(センサ、無線デバイスを含む)

注)写真はサンプル品です。
実際の商品では、電子回路基板は保護材で覆われます。

主な特長

1 互換性

寸法、負荷容量を変えることなくセンサ、発電ユニット、無線デバイスを内蔵し、標準軸受との互換性を確保

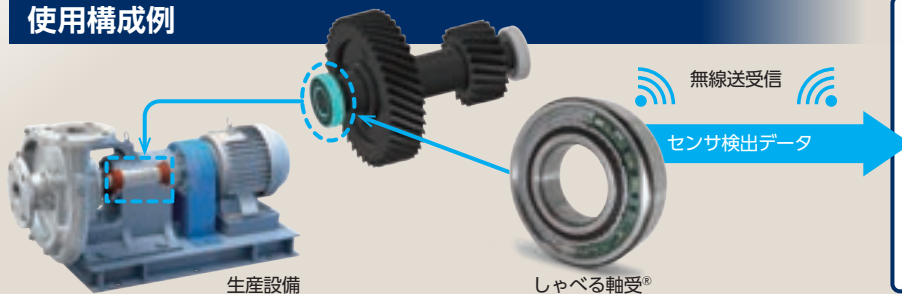
2 高度な状態監視・異常診断

内蔵センサにより、機械装置の外側にセンサを設けて検出する場合に比べて軸受の振動・温度を高感度で検出

3 高い利便性

電源供給・データ送信用のケーブルが不要で、機械装置への装着が容易

使用構成例



① データロガーにデータを保存後、読み取り



② データをタブレット・パソコンで直接読み取り



会社情報 (2022年9月30日現在)

■ 当社の概要

社名 NTN株式会社
 商標 **NTN**
 創業 1918年3月
 設立 1934年3月
 資本金 543億円
 従業員 5,760名(連結:23,383名)
 事業内容 軸受、ドライブシャフト、
 精密機器商品等の製造及び販売

■ 取締役

取締役 鵜飼 英一
 取締役 宮澤 秀彰
 取締役 白鳥 俊則
 取締役 江上 正樹
 取締役 山本 正明
 取締役 尾迫 功

社外取締役 津田 登
 社外取締役 川原 廣治
 社外取締役 川上 良
 社外取締役 西村 知典
 社外取締役 小松 百合弥
 社外取締役 村越 晃

■ 執行役

代表執行役 執行役社長 鵜飼 英一*
 代表執行役 執行役 宮澤 秀彰*
 執行役 市川 博幸
 執行役 江上 正樹*
 執行役 皆見 章行
 執行役 川端 恭弘
 執行役 木下 俊平

執行役 白鳥 俊則*
 執行役 十河 哲也
 執行役 孝橋 宏二
 執行役 播磨 悦
 執行役 三村 洋造
 執行役 山本 正明*

*取締役を兼務する執行役

株式情報 (2022年9月30日現在)

■ 株主数及び株式数

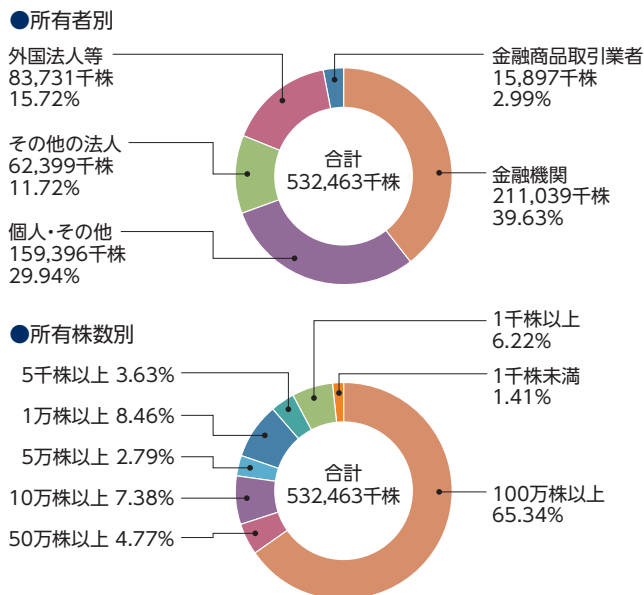
●株主数.....60,346名
 ●発行済株式数.....532,463,527株
 (自己株式845,523株を含む)

■ 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率※ (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	79,409	14.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	25,964	4.88
明治安田生命保険相互会社	22,467	4.22
NTN共栄会	16,638	3.12
第一生命保険株式会社	16,303	3.06
株式会社三菱UFJ銀行	15,172	2.85
NTN従業員持株会	11,949	2.24
日本生命保険相互会社	9,206	1.73
三菱UFJ信託銀行株式会社	8,309	1.56
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	7,492	1.40

※持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

■ 株式分布状況





株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 事業年度終了後3か月内
- 基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。

- 剰余金の配当 3月31日
- 受領株主確定日
- 中間配当 9月30日
- 受領株主確定日
- 公告方法 電子公告
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の場合のホームページアドレス
(<https://www.ntn.co.jp>)

- 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関
〒100-8212
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

- 同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話（通話料無料） 0120-094-777

- ご 注 意
 1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。